

高文連 囲碁全道大会 実施要項

1 日 程

令和4年5月19日（木）	8：20	受付開始
	9：00	開会式
	9：20	団体戦開始・段級位認定大会・指導対局 開始
	12：10	昼食休憩 ～13：00
	13：00	午後開始
	14：20	個人戦開始
	17：00	1日目終了（個人戦1～2回戦まで行う）
5月20日（金）	8：20	受付開始
	9：00	個人戦・段級位認定大会開始
	11：50	昼食休憩 ～12：40
	12：40	午後開始
	14：20	閉会式
	14：50	終了

2 競技方法

（1）団体戦

- ① 1校男女共各1チーム（3名編成）とし、男女別トーナメント方式とする（参加校数によってはリーグ戦方式とする場合がある）。
- ② 先手、後手は主将が握って、副将、三将と交互に白黒が入れ替わる。
- ③ 原則として、申し込み後のオーダー変更は認めない。

（2）個人戦

- ① 男女別トーナメント方式あるいはスイス方式とする。なお、男子はAクラス（有段者および希望者）とBクラスとする。全国大会の男子代表はAクラスから選ぶ。
- ② 団体戦出場者も個人戦に出場できる。

（3）団体戦と個人戦のルール

- ① 総互先で先番6目半コミ出しとする。
- ② 手合い時計を用いる。持時間は各40分とし、秒ヨミは行わず、形勢の如何にかかわらず持時間を超えた時は負けとする。
- ③ 遅刻は20分までとし、それを超えた場合は不戦敗とする。

（4）段級位認定大会

- ① 個人戦に出場しない者、および個人戦の敗者により行う。
- ② 1人4回戦を行う。
- ③ 手合い割は1段級差1子、同段級は互先先番6目半コミ出しとする。
- ④ 持碁は白の勝ち。
- ⑤ 手合い時計を用い、持ち時間は各30分とし、秒ヨミは行わない。
- ⑥ 級位認定は15級～1級まで、段位認定は初段～四段までとする。認定者には、日本棋院より免状・認定状を授与する。

（5）電子機器等の使用

対局中、スマートフォン、携帯電話、タブレット、ウェアラブル端末等の電子機器の使用は一切認めない。またこれらに触れることも禁ずる。これに反した場合は負けとする。この指摘は対局者ならびに審判のみが行うことができる。

（6）疑義が生じた場合は、審判長が判断し、勝敗を決する。

3 交流会

- (1) 指導対局 大会審判長及び講師による多面打ちを行う。
- (2) 参加生徒および顧問、引率者、専門委員を交えての交流試合を行ってよい。

4 表彰

各種目とも原則3位まで表彰する。但し男子個人戦Aクラスは5位まで表彰する。

5 全国高校囲碁選手権大会（8月3日～5日）代表

団体戦 男子1チーム 女子1チーム

個人戦 男子2名（Aクラス1位・2位） 女子2名（1位・2位）

6 全国高等学校総合文化祭囲碁部門（8月1日、2日）代表

団体戦 男子2名（Aクラス4位・5位）＋女子1名

個人戦 男子1名（Aクラス3位） 女子1名

*（ ）内は本大会での順位

7 感染症対策

(1) 対局者の留意点

- ① 大会1週間前から大会当日まで健康状態を確認し、「新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」に記録を取り顧問に提出する。各校顧問は、大会当日受付で事務局に提出する。発熱や新型コロナウイルス感染症様の症状がある場合は、顧問に報告する。顧問は事務局に相談の上、出場を取りやめるなど適切に対応する。
- ② 対局会場では必ずマスクを着用する。
- ③ 対局中や合間に換気が行われるので、各自防寒の対策を講じておくこと。
- ④ 対局の前には手の消毒を行う。アルコール消毒液が体に合わない生徒は、各自自分に適した消毒法を準備するか、丁寧に手洗いをすること。
- ⑤ 対局終了後は感想戦を行わず、速やかに結果を報告した後、対局席から離席し、密にならないよう留意する。
- ⑥ 対局開始は礼のみとする。投了は、言葉を発してよい。

(2) 運営者の留意点

- ① 大会当日起床後は検温を行い、発熱や風邪症状のある場合は休む。
- ② 対局会場では必ずマスクを着用する。
- ③ 消毒液を出入り口や対局場所近くに一定数配置する。
- ④ マスクの予備を用意する。
- ⑤ 適時、会場内を消毒する。
- ⑥ 対局者の間隔を通常よりも余裕を持った配置とする。なお、対局正面の間隔は通常配置でかまわない。
- ⑦ 適時、換気を行う。
- ⑧ 開会式、閉会式は社会的距離に配慮し実施する。